



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月7日

上場会社名 ユニチカ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3103 URL <https://www.unitika.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上埜 修司
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 藤本 真澄 TEL 06-6281-5721
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	86,505	△1.9	△2,618	—	△2,114	—	△2,859	—
2023年3月期第3四半期	88,173	5.0	1,769	△63.9	2,414	△46.6	1,101	△64.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △1,754百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 3,898百万円 (△2.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△53.29	—
2023年3月期第3四半期	15.15	8.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	191,802	41,880	20.9
2023年3月期	190,003	43,918	22.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 40,159百万円 2023年3月期 42,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	1.7	△2,400	—	△1,400	—	△2,200	—	△43.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	57,752,343株	2023年3月期	57,752,343株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	96,818株	2023年3月期	96,504株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	57,655,657株	2023年3月期3Q	57,656,347株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	12,000.00	12,000.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期（予想）				12,000.00	12,000.00
B種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	23,740.00	23,740.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期（予想）				23,740.00	23,740.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、全体としては回復傾向が続き、非製造業においては行楽需要やインバウンド需要の回復が、製造業においては自動車の生産台数の回復が景況感にプラス影響を与えました。その一方で、物価上昇による節約志向の高まりなどから個人消費が弱含みで推移しました。また海外では、欧州においてインフレや高金利を背景にした景気低迷が続いている他、中国において不動産市況の悪化に伴う経済減速からの回復が遅れており、これらの影響で消費需要が停滞しました。

このような状況の下、当社グループは、2023年5月に新中期経営計画「G-S T E P 3 0 2 n d (ジーステップ・サーティ〜セカンド)」を公表し、新しい中期経営計画の基本方針である、「事業ポートフォリオの再構築」、「グローバル化の推進」、「事業基盤の整備」を骨子とした各施策を推進してまいりました。

こうした中、景況感の悪化等による需要の減少を受け、第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比1.9%減収の86,505百万円となりました。

営業利益は、原燃料価格の高止まり、円安によるコストアップ及び販売減少の影響を受け、収益が悪化したことにより、2,618百万円の営業損失(前年同四半期は1,769百万円の利益)となりました。また、円安の進行により外貨建資産の為替評価益を計上した結果、経常損失は2,114百万円(前年同四半期は2,414百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,859百万円(前年同四半期は1,101百万円の利益)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、一部の連結子会社の報告セグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載しております。

【高分子事業セグメント】

高分子事業セグメントでは、多くの製品で販売数量が減少しましたが、価格改定を実施した効果により売上高は増加しました。しかしながら、販売数量の減少に伴う減産の影響によるコストアップが価格改定の効果を上回り、収益が悪化しました。

フィルム事業では、包装分野では、国内においてインフレによる食品類販売減の影響が続きましたが、海外においてバリアナイロンフィルム「エンブレムHG」の販売は伸長しました。東南アジアにおいて、海外品との販売競争が激化したことで販売単価が下落し、収益にマイナス影響を受けました。工業分野では、第3四半期に入り、需要に回復の兆しが見られたものの、販売減少が続きました。この結果、事業全体で増収減益となりました。

樹脂事業では、電気電子部品、機械部品、レジャー用途などで、中国や欧州において最終製品の需要低迷が続いた影響を受けましたが、一方で自動車生産台数の回復により販売が増加しました。接着剤、コーティング剤向け機能樹脂は堅調な販売状況でした。価格改定を実施した効果で第3四半期に入り採算改善は進みましたが、前半の収益悪化を補うには至りませんでした。この結果、事業全体で増収減益となりました。

以上の結果、高分子事業セグメントの売上高は38,527百万円(前年同四半期比2.4%増)、営業利益は183百万円(同94.3%減)となりました。

【機能資材事業セグメント】

機能資材事業セグメントでは、幅広い用途分野で販売減少が続きました。販売減少に伴う生産調整の影響で採算性が悪化した結果、減収減益、営業赤字となりました。

活性炭繊維事業では、主力の浄水器用途の販売は国内向けでやや減少し、環境分野は電子分野の市況低迷の影響を受け、販売が減少しました。

ガラス繊維事業では、産業資材分野の販売は引き続き堅調でした。電子材料分野のICクロスは、第3四半期に入り、一部の用途で回復が見られましたが、全体での販売は減少しました。販売減少に伴う自社工場の稼働減少が続き、採算が悪化しました。

ガラスビーズ事業では、道路用途の販売は天候不順を背景とした道路工事減少の影響を引き続き受けて減少しました。また、プラスト用、フィルター用などの工業用途、および反射材用途についても需要低迷が続いた影響で販売が減少しました。

不織布事業では、特にフィルターやスキンケア用などの生活資材用途および第一次産業向けの販売が減少しました。価格改定を実施しましたが、原燃料価格や減産にともなうコストアップが上回り、収益が悪化しました。

産業繊維事業では、ポリエステル短繊維の販売はフィルター用途を中心に回復しましたが、建設資材用途などのポリエステル高強力糸の販売は減少しました。原燃料価格の高止まり影響等で収益は悪化しました。

以上の結果、機能資材事業セグメントの売上高は25,003百万円(前年同四半期比4.6%減)、営業損失は2,047百万円(前年同四半期は51百万円の損失)となりました。

【繊維事業セグメント】

衣料繊維事業では、主力のユニフォーム分野は第3四半期も堅調に推移しましたが、その他分野はやや苦戦しました。グローバル事業は、前年比、回復基調にあるものの、産業資材事業は苦戦しました。価格改定やコストダウンの効果により、採算改善は進み、前年対比で営業赤字は縮小しました。

以上の結果、繊維事業セグメントの売上高は22,939百万円（前年同四半期比5.6%減）、営業損失は703百万円（前年同四半期は1,343百万円の損失）となりました。

【その他】

その他の事業では、売上高は35百万円（前年同四半期比36.6%減）、営業損失は68百万円（前年同四半期は41百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,798百万円増加し、191,802百万円となりました。これは、主として有形固定資産が増加したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ3,837百万円増加し、149,922百万円となりました。これは、主として短期借入金が増加しましたが、支払手形及び買掛金が増加したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ2,038百万円減少し、41,880百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月9日の「2024年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,548	11,691
受取手形、売掛金及び契約資産	23,104	22,991
棚卸資産	35,739	35,075
その他	5,506	4,711
貸倒引当金	△53	△46
流動資産合計	74,845	74,423
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	25,996	27,860
土地	62,605	62,762
その他(純額)	19,711	19,987
有形固定資産合計	108,313	110,610
無形固定資産		
その他	2,171	2,071
無形固定資産合計	2,171	2,071
投資その他の資産		
その他	4,783	4,815
貸倒引当金	△110	△118
投資その他の資産合計	4,673	4,696
固定資産合計	115,158	117,379
資産合計	190,003	191,802

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,269	17,964
短期借入金	4,124	3,095
1年内返済予定の長期借入金	2,643	2,630
未払法人税等	202	151
賞与引当金	1,554	774
製品改修引当金	35	35
その他	9,147	10,227
流動負債合計	32,977	34,879
固定負債		
長期借入金	86,671	86,710
退職給付に係る負債	14,375	14,734
その他	12,060	13,598
固定負債合計	113,107	115,042
負債合計	146,085	149,922
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	11,476	11,476
利益剰余金	27,467	24,324
自己株式	△57	△57
株主資本合計	38,986	35,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	544	842
繰延ヘッジ損益	4	△4
土地再評価差額金	6,244	6,244
為替換算調整勘定	△3,452	△2,637
退職給付に係る調整累計額	△217	△128
その他の包括利益累計額合計	3,123	4,316
非支配株主持分	1,808	1,720
純資産合計	43,918	41,880
負債純資産合計	190,003	191,802

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	88,173	86,505
売上原価	69,378	73,144
売上総利益	18,795	13,360
販売費及び一般管理費	17,025	15,979
営業利益	1,769	△2,618
営業外収益		
受取利息	31	37
受取配当金	60	64
持分法による投資利益	—	14
為替差益	1,391	1,341
その他	332	221
営業外収益合計	1,816	1,679
営業外費用		
支払利息	791	793
持分法による投資損失	0	—
その他	379	381
営業外費用合計	1,171	1,175
経常利益	2,414	△2,114
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	1	10
特別損失		
固定資産処分損	644	464
事業構造改善費用	150	77
特別損失合計	795	542
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	1,620	△2,646
法人税、住民税及び事業税	245	221
法人税等調整額	310	243
法人税等合計	555	464
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,064	△3,111
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△37	△251
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	1,101	△2,859

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,064	△3,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	297
繰延ヘッジ損益	△17	△8
為替換算調整勘定	2,708	978
退職給付に係る調整額	185	89
その他の包括利益合計	2,833	1,356
四半期包括利益	3,898	△1,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,598	△1,667
非支配株主に係る四半期包括利益	300	△87

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能資 材事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,614	26,210	24,292	88,118	55	88,173	—	88,173
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,580	1,402	125	6,108	—	6,108	△6,108	—
計	42,195	27,613	24,418	94,227	55	94,282	△6,108	88,173
セグメント利益又は損失 (△)	3,224	△51	△1,343	1,829	△41	1,787	△18	1,769

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能資 材事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	38,527	25,003	22,939	86,470	35	86,505	—	86,505
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,859	1,366	82	5,308	—	5,308	△5,308	—
計	42,387	26,369	23,022	91,778	35	91,814	△5,308	86,505
セグメント利益又は損失 (△)	183	△2,047	△703	△2,567	△68	△2,635	16	△2,618

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、一部の連結子会社の報告セグメントを「高分子事業」から「繊維事業」へ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分方法により作成したものを記載しております。